診療上の情報公開文書

当院では、国内で承認された医薬品、医療材料を添付文書に示された使用方法と異なる方法(適応外)で使用する場合に、その適切性、安全性等を「医療倫理員会」にて審査しており、下記の医療の提供が承認されています。

下記の治療法については、必要時に速やかに治療を実施することができるよう、対象となる方から事前に同意をいただくことに代えて、病院ホームページにて情報を公開することにより投薬を実施しています。本内容に関して拒否される場合やご質問がございましたら、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

本件について同意されない場合であっても、あなた自身への診療における不利益のないよう努めます。

記

実施内容	水分制限下等にある患者に対する高濃度静注用カリウム
	製剤を用いたカリウム補正療法
使用する医薬品の名称	KCL 注(20mEq/20mL)
対象者	集中治療室に入室中の低カリウム血症の患者
対象診療科	全診療科対象ですが、主に循環器内科となります
承認日	2025年9月29日(倫-1213)
対象期間	承認後から永続的に使用します
目的・概要	低カリウム血症に対する治療は重篤な場合や内服薬が困
	難な場合に注射用製剤が使用されます。注射用カリウム製
	剤は添付文書上、40mEq/L 以下に希釈し、20mEq/時間を
	超えない速度で投与、1 日投与量が 100mEq を超えないこ
	とと規定されています。しかし、高度の水分制限が必要な
	場合や速やかな補正が必要な場合は、高濃度で使用するこ
	とがあります。当院では集中治療室に入室し、中心静脈路
	が確保されている場合に、心電図モニターを装着した状態
	で投与濃度 400mEq/L、1 日投与量 400mEq までの使用を
	認めています。
想定される不利益と対策	カリウムの補充により、想定より血清カリウム値が上昇す
	ることがあります。その場合、不整脈や心不全をきたす恐
	れがあるため、必ず心電図モニターを装着し、少なくとも
	6 時間毎に血清カリウム値のモニタリングを行います。ま
	た異常が認められた場合は注射用カリウム製剤を速やか
	に減量もしくは中止し、適切に対処します。
お問い合わせ先	東京逓信病院 各診療科担当医師
	電話 03-5214-7111 (代表)
	•